

宗賀地区

日付：令和5年7月10日（月）

場所：宗賀支所

会場：14名 オンライン：13名

出席者：市長 企画政策部長 建設事業部長 企画課長 都市計画課長 企画係長 計画係長 企画係1名 デジタル戦略課1名 計画係1名

【1】第六次総合計画目指す都市像について（質疑）

□ 個人①

- ・ 基本戦略Aの3番に伝統・文化・スポーツ・生涯学習とあるが、このスポーツの部分のところで少しご提案させていただきたい。5年後に長野県で国民スポーツ大会が開催される。塩尻市としてその大会をどのように活用するかが重要ではないか。長野県に来るから、割り当てられたものやっつけていこうということにとどまらず、しっかりやっていただくことはとても大切なことだと思う。当然お考えのことだと思うが、大いに活用していただきたい。大会は何十年に一回の話で、頻繁に来るものではないので、本当に塩尻だけに限定せずに地域を含んで考えてほしい。
- ・ 塩尻で行う種目や、周辺の市町村で行う種目を大いに利用していただいて、塩尻市のスポーツを盛んにすることも、またひいては盛んになったスポーツの持つ力が健康長寿にどのように活用できるのか、どのように生かしていけるのか、というところを目指して構築していけたらいい。国民スポーツ大会が回ってくることで自体がもう財産なので、ぜひその辺をご活用いただければありがたい。文言がどこかに入れれば嬉しいな、と希望している。

□ 個人②

- ・ 多彩な暮らしということだが、新しい産業がないとなかなか多彩な暮らしはできないと思う。具体的にこういう産業をこれから塩尻市の中で生かし育てていこうという計画や、考えがあれば教えてほしい。

グループごとの発言

■ グループ①

- ・ このグループは、宗賀洗馬が2人、平出、本山が1名ずつだった。弱み強みを考える中で、もうちょっと宗賀の強みを発揮するためにこういうことをやった方がいいのではという4点について具体的に話させていただく。

- ① 洗馬宿と本山宿の活用について。洗馬宿には歴史同好会があり20年以上活動していて、洗馬宿に関する説明のブロがある。ただ、残念なことにいろいろ発信はしていてもまだ発信が足りないという意見があった。安藤広重の洗馬宿の絵のところや本山宿も活用してセットで考えてもいいのではないかと。塩尻市には4つ「宿」があるが、そういうものを含めて観光資源としてもっとPRした方がいい。今でも洗馬宿は年にコースがあって、外国人やバスで来る方、それから小学校のコースの中にも入っている。小学生には全部の洗馬宿街道を説明して、できるだけ洗馬宿の中身を知っていただくという事業もやっているのだからプラスアルファをしたらどうか。
- ② 宗賀を見ると、桔梗ヶ原や平出の一部を除けばどうしても人口減少があって、その大きな要因は洗馬宿は国道のあたりが全部調整区域で残念ながら家が建てられないことにある。洗馬宿は旧洗馬宿がメインで、ポツポツ家があるだけで、いくら力んでもそれ以上の住宅はないし人口は増えない。その辺の市街化調整区域の解除は前から洗馬の中ではずっとそういう話があって、解除できないかと言うのがなかなか難しい。そういうところを大きな視野で見ていただき将来的に解除できないか。
- ③ 塩尻にある道の駅がいくつかあるが、残念ながら宗賀にはない。洗馬宿ではどんぐりプロジェクトも含めていろいろやっているのだから、あの辺の土地を活用して洗馬宿にも道の駅を作っていただきたい。道の駅に寄っていただく人が野菜などを買っていただくようなプラスアルファができればいい。
- ④ 宗賀には平出博物館がある。何年後か分からないが構想だとガイダンス棟の方に博物館を移設して、あの辺全体を博物館とするようだ。宗賀の大きな強みはブドウ、ワイン、それに博物館。これを何点か組み合わせると宗賀をPRしていただくようなことを全体の中に盛り込んでいただければありがたい。

■ グループ②

- ・ 宗賀地区の強みでキーワードとして出てきたのは、ブドウが盛んであるのでワインを活用したワインレストランを作ったらどうかという話や、平出の泉の辺りや比叡ノ山が観光資源としては豊富なので、有効活用していきたい。
- ・ また、そばが有名なので、本山のそばの里の活動をもっとしていったらいい。

- ・ 地区の課題について。外灯が少なく暗い道が多い。また、洗馬宿、本山宿の道はスピードを出す車が多いので、何か対策してスピードの抑制ができればいい。

- ・ まちづくりの目標について。高齢者が相当増えていくので、高齢者が生き生きと暮らせるまちを目指していきたい。地区の強みの部分に牧野や日出塩のワードがないので少しでもあったらいい。地区の弱みで、空き家や高齢化が進んでいるとあるので、そういったワードを載せて、空き家の有効活用などが今後いろいろできるといいかなと感じた。

■ グループ③

- ・ 議会などでも散々出ているが、塩尻市は産婦人科医がないことになって若い人が引越し対象の地域として考えていない。若い人が入らないと結局いろいろな問題が出てくるので、大変難しい問題ではあると思うが、ぜひ力を入れて復活していただければという強い意見があった。

- ・ 平出遺跡公園について。こちらが大変良いところで様々な活用が始まっている。朝や夕方に行くと犬の散歩が盛んに行われていて、キッチンカーフェスや灯明まつりなど歴史公園以外の活用も始まっている。その面白さを発信する中で、平出をPRして、町の魅力づくりに繋げていただきたい。ただ、宿泊施設がないので、最近はやりのグランピングなど様々な視点を入れる中で活用を図っていただきたい。

- ・ やはりワイナリー、ブドウの話が出た。ワイナリーフェスタは本当に全国的な人気で、年4回ぐらい開催していただければという話もあるが、やはりワイナリー側の負担になってはいけなないので、負担のない範囲で拡大できればいいなという夢の話が出た。ただ、その原料となるブドウは農業後継者がいないがために、いいブドウがなっていた木が切られてしまうような現状がある。農業後継者の育成と合わせて外部へもブドウ農家やりませんか、と呼びかけることも含めてできればいいなと思う。

- ・ 政治的な話ではあるが、空き家の問題、また個人的な話になるが地区の弱みに荒廃農地とある。荒廃した山林、特に最近松くい虫がどんどん南の方に広がっているので対策をお願いしたい。松くい虫にやられると、山崩れ等の心配もあるのでぜひお願いしたい。

■ グループ③

- ・ この地区の課題とまちづくりの目標について。一番大切なのは「住みやすさが大事」なのではないか。我々の住んでいる地域はブドウ産地で、この産地の大切なブドウの品種がある。地場品種でもあるナイアガラやコンコードを守っていきたい。ただ、これを作る農家の経営としては、取引単価が低いのではないかという話も出た。

- ・ まちづくりの目標に書かれている「桔梗ヶ原の果樹園が広がる田園風景を守り続けるまちづくりを進める」とあるが、この田園風景を残すのであれば、農家の皆様が作りたくするような計画もこのまちづくりの目標の中に入れていただけないか。農家の方も、地域外からの方もこの塩尻というブドウ産地に住みやすい環境づくりもしていただければと思う。最終的には「ブドウの産地だよね」というブランド化も目指していただきたい。